

# 平成27年度埼玉県学力・学習状況調査に係る分析報告書 まとめ

## 英語編 視点1 「従来から取り組んできて、効果を出している取組」

	13 戸田中学校	14 戸田東中学校	15 美笹中学校	16 喜沢中学校	17 新曽中学校	18 笹目中学校
中2 県70.1	特に「聞くこと」と「読むこと」においては、日々のリスニング活動や、リーディング活動の結果だと考えられる。また、毎回の授業では英単語テストを実施し、点数が低い生徒は朝に補習を行い、少しずつ基礎的・基本的な知識を身に付けている。	パフォーマンステストとして行っている、スピーキングテストと音読テストを実施する。	本校は、「聞くこと」「コミュニケーションへの関心、意欲、態度」については県を上回っている。これは、常駐するALTとの授業への積極的な参加、日常生活の中の自然なコミュニケーションの効果だと考える。	本校は3領域で県・市正答率を上回っている。これは小学校の英語活動を生かし、「話すこと」を含め4領域についてバランス良く取り組んできた効果だと考える。	定期テスト前に毎時間取り組んでいる単語10問テストの効果が考えられる。授業内外で積極的に英語を話させるためのポイントカード、ミッションカードを活用する。	本校では全学年を通して、コミュニケーション活動の充実を英語科の課題としている。インタビュー活動など生徒がよりAuthenticな英語に触れる機会を設けている。
中3 県63.9	ALTのティームティーチングを通じて表現力を高める活動を行い、また授業のウォームアップで読解練習により、英語を読むこと（理解力）のアップにつながっている。	English song 定期的に行うfree speaking test point system の実施が大きい。	「コミュニケーションへの関心、意欲、態度」「外国語理解の能力」については県を上回っている。ALTの積極的な授業参加、授業以外でのALTとのコミュニケーションの効果だと考える。	普段の授業のノート作り、課題英作文の指導、文法復習のワークシートを活用する。	今回の結果から、効果を出している取り組みがあるとは言えない。	授業は英語で行うことを基本に1年次より取り組んできた。習った英語は使うことで習得していくため、コミュニケーション活動（ペア・グループ）を適時組み込み、自分の考えや気持ちを伝え合うことに力を入れた。

# 平成27年度埼玉県学力・学習状況調査に係る分析報告書 まとめ

## 英語編 視点2 「『新しい学び』として取り組みたい / 取り組む予定の方法」

	13 戸田中学校	14 戸田東中学校	15 美笹中学校	16 喜沢中学校	17 新曽中学校	18 笹目中学校
中2 県70.1	「書くこと」や「外国語表現の能力」をより一層高めるために、英作文を書く活動を増やしていく。また、授業中にも言語活動をより充実させる。	帯活動としてトピックに基づいた会話表現のインプット活動を実施する。教科書本文のディクテーション（書き取り）を実施する。	「書くこと」に関しては、言語活動を充実させることが重要だと捉える。そのため外国語の授業においては、ワークシートに自分の考えを書いたり、協調学習によってまとめた意見を書いたりという外国語表現の能力の向上に取り組みたい。また、一学期の日頃の取り組み、夏休みの宿題であったdiaryは、書く能力の向上として最適であり、持続して取り組んでいきたいと思う。	「書くこと」に関して、単語と基本文の習得が重要だと捉える。単語と基本文の習得には「読むこと」・「話すこと」を通して学習することが効果的である。今後、読んだり話したりする表現活動を活性化させるためにALTとのチームティーティングを活用する。また、プリント学習でのグループ内での学び合いやペア学習による表現活動を多くし協調学習に取り組む。以上の取組を通して「書くこと」の能力の伸長を図る。	毎時間の授業の最初に5問テストを行う（リスニング、和文、英訳など）。定期的にまとまりのある英文を書かせる（5文ライティング、即興ライティング）。	授業において、commandなどを含めオールイングリッシュでの授業を心がける。また、グループ活動の一環として、協調学習の形態を積極的に取り入れ、生徒が自分の考えに自信を持ってクラスの中で発表し、自己肯定感を高めることにつなげたい。
中3 県63.9	コミュニケーション活動の中での話し合い活動など発言力を高めるアクティブ・ラーニングを今まで以上に取り入れるとともに、ことばや日本文化についても自分の考えを深め英語で伝える取組をさらに深化させたい。	協調学習の手法に挑戦してみる。	「書くこと」に関しては、言語活動を充実させることが重要だと捉える。そのため外国語の授業においては、ワークシートに自分の考えを書いたり、協調学習によってまとめた意見を書いたりという外国語表現の能力の向上に取り組みたい。一学期は日記を書く、定期的な単語テストに取り組んできた。今後も継続して行いたい。	課題解決学習を実施する。（アクティブラーニングを取り入れた、少人数のグループで行う活動） まとめた英文を聞く活動を実施する。（副教材も視野に入れて） ALTの説明をメインとした聞く活動を実施する。	コミュニケーション活動の充実。パターンプラクティスだけでなく、自分の意見を英語でまとめ、活動で活用していくような取組を入れていく。	2年次より本格的に協調学習の手法を取り入れた授業改善に努めてきた。普段からペア学習やインタビュー活動には力を注いできたが、グループ学習はあまり取り入れてこなかったために、生徒にとっても新鮮であった。いろいろな表現を獲得した上で、復習のプロジェクトという形式で協調学習を実践していきたい。英語で行うことは難しい面はあるが、ディベートの要素も少し入れながら、中学生が興味関心の高いトピックで実践したい。

# 平成27年度埼玉県学力・学習状況調査に係る分析報告書 まとめ

## 英語編 視点3 「『視点2』以外で、授業改善に関する取組」

	13 戸田中学校	14 戸田東中学校	15 美笹中学校	16 喜沢中学校	17 新曽中学校	18 笹目中学校
中2 県70.1	授業中にアクティブ・ラーニングを多く取り入れ、生徒が主体的に英語を使う活動を多く取り入れる。ペアワークやグループワークをより一層多く取り入れる。	帯活動としてトピックに基づいた会話表現のインプット活動を行う。 教科書本文のディクテーション（書き取り）を行う。	コミュニケーションへの関心、意欲、態度については、本校でも高い数値を示しているため、これを維持するためにワークシートの取り組みの後のプレゼンテーションとして、natural conversationを今まで同様続けていきたい。	言語活動を活発化するために授業の始めに、5～10分間の会話活動を実施している。また、単語と基本文の定着を図るために毎時間宿題を課し、次時に小テストを実施している。	Q-Aプラスワン活動を実施する。（論理的な会話力を育成するための口頭練習）	小テストの継続的な実施。スパイラル学習の一環として学習事項の復習を短い時間で行える小テストを実施し、理解の確認と定着を図りたい。
中3 県63.9	スペリングコンテストなどの結果を日頃の家庭学習に反映させ、語彙力を増強させたい。	pair work やgroup内での発表を行い、自信をつけていく。	コミュニケーションへの関心、意欲、態度については本校でも高い数値を示している。今後はプレゼンテーションの機会をさらに増やし、積極的に自分の考えや意見を発言できる生徒を増やしていきたい。	ペアワークやグループ活動をさらに取り入れ、話し合い活動の中で理解を深め、さらに確実に定着させていく活動を行う。	授業の振り返りをその授業の終わりや次の時の最初に組み込んでいく。	中学校卒業時には学校生活で頑張ったことや将来の夢などの自己PRを論理的な文章を用いて伝えることができるようになるため、実践的なスピーチの仕方を指導したい。

# 平成27年度埼玉県学力・学習状況調査に係る分析報告書 まとめ

## 英語編 視点4 「補充的指導として取り組みたい / 取り組む予定 / 強化したい事柄」

	13 戸田中学校	14 戸田東中学校	15 美笹中学校	16 喜沢中学校	17 新曽中学校	18 笹目中学校
中2 県70.1	授業中にスピーチ活動を取り入れ、人前で英語を話す機会を増やしていく。	夏休み明けに行ったスプリングコンテストに出た単語の反復学習として、毎授業5問ずつミニテストを実施する。	学習支援者による朝学習、放課後の補習により、授業内での理解が困難な生徒に支援する手立てをより促進させたい。また、今まで同様、週末課題、そのまとめのテストを今までどおり続けていきたい。	ALTと学習支援サポーターによる昼休みや放課後の個別指導、夏休みの学習会を活用する。単語100題テストを継続する。学習意欲の向上のために英語暗唱・弁論大会の校内予選を実施する。	日本人同士のチームティーチングにおける個別指導を実施する。 定期テスト前の質問教室、学習会を実施する。	本校で実施している長期休み明けの単語テストを通して事後指導の充実を図り、基礎的・基本的な知識及び技能の定着の徹底を目指す。
中3 県63.9	5文英作文など今までの取り組みを継続し、さらに自分の考えをスピーチなどに発展させたい。	vocabulary building 語彙・単語力をつけるため 重要単語を繰り返し練習する機会をつくる。	学習支援者による朝学習、放課後の補習により、授業内での理解が困難な生徒に支援する手立てをより促進させたい。	まとまった英文を聞く取組を行う。 (副教材の利用も視野に入れて。) ALTの説明をメインとした聞く活動を行う。	教科書以外の英文も扱い、補充的に読むことの活動を取り入れていく。 行事やイベントごとに日記やレポートのような形で英作文に取り組んでいく。	「読むこと」に対して苦手意識を持っている生徒がいるため、語彙力のアップを図りながら、短い文章を早く読み取る活動をゲーム形式で適時入れてみたい。英検の活用も予定している。